

中国研究のための情報源のアクセスの現状と図書館に期待する役割

平成30年度アジア情報関係機関懇談会

中部大学 大澤肇

2019/2/22



中部大学

報告者自己紹介

- 大澤肇(おおさわはじめ)、1977年生まれ。東京出身。
- 専門は中国近現代史(東洋史→政治学→地域研究)。史料上の必要から、フィールドワークによる聞き取り調査も行う。従って、今回は中国近現代史研究というディシプリンからの報告となる。
- 経歴: 博士(学術、東京大学)。国立公文書館アジア歴史資料センター調査員、公益財団法人東洋文庫研究員(人間文化研究機構現代中国地域研究プロジェクトに係わる業務に従事)を経て現職(中部大学国際関係学部教員)。
- 留学: 華東師範大学(高級進修生)、ハーバード・イェンチン研究所(客員研究員)。

中国研究のための情報源のアクセスの変遷 昔は…

■ 「竹のカーテン」の時代

- ◆ 中国(中華人民共和国)研究＝『人民日報』を読むこと、Pekingology
- ◆ 中国への訪問＝限られた人(「友好人士」)に限られ、自由に見て回ることはできない。

■ 私が卒論を書いていた頃(1998-99年)は…

- ◆ 東洋史の「演習」の授業＝「白文」を書き下しで読む
- ◆ 『複印報刊』を読め!

■ 20世紀後半＝図書館と専門家が中国に関する「知」「情報」を独占できた時代、といえる。

句読点、返り点、送り仮名などがついていない漢文

複印報刊とは、中国人民大学が1958年以降続けている、100余りの専攻分野ごとにすぐれた論文を転載した定期行物のこと。

中国研究のための情報源のアクセスの変遷

■ グローバル化の時代 今は…

- ◆ 現代中国論でいうならば、中国へ直接アクセスできる(パスポートとお金があれば…)。Wechatでテレビ電話も!中国に居る日本人、或いは中国関係のフリーライターも多い。
- ◆ 中国人もたくさんいる。学生のなかにも中国人がたくさんいて、中国語で講義した方が早いかも。
- ◆ 中国の経済発展と技術発展に伴い、新聞や統計データ類はおろか、図書自体もネットで見られるように。
 - 「人民網」<http://j.people.com.cn>
 - 「搜数」<http://www.soshoo.com>
 - 「CADAL」 <http://www.cadal.cn>



中国研究のための情報源のアクセスの変遷 今は…

■ 中国での史料開放と、中国の研究のレベルアップ

- ◆ 21世紀に入り、近現代史では一次史料(=アーカイブ)の開放始まる。中国へ直接アクセスできるので、現地での史料収集が必要。中国現地での学会発表も盛ん。英語はともかく(?)、中国語の会話ができないと色々困る。
- ◆ 先行研究の把握は、『複印報刊』からCNKIへ。ネットで色々見られる時代。

■ 21世紀=だれでも中国に関する「知」「情報」を発信できる時代、といえる。

中国版Cinii Article。但し、1990年以降の学術論文は基本的に全てCNKIにデジタルテキストとして、本文が掲載されている。有料。但し、中国の研究大学ではほとんどが講読されている。日本でもNDL本館などで閲覧可。

情報源のアクセス変遷から導き出せること

- 従って、今後の図書館は、①ネット資料へのより一層の対応、②資料電子化(電子化資料)へのより一層の対応が必要
- ①②への対応: いますぐどの館でもできること
 - ◆ ウォークインユーザーにwifi開放(あるいはeduroamの啓蒙や宣伝)
 - ◆ ウォークインユーザー対応のDBは端末を配置
- 中長期的には…
 - ◆ 高機能OPACの導入、ウェブサイト、デジタルデータ、書籍がシームレスに探せると良い(例・NDLサーチ、ハーバード)
 - 多くのユーザーは資料の媒体が何かはそれほど重要でない。
 - Googleとどう違う?(情報の信頼性担保?)

HARVARD LIBRARY HOLLIS

manchuria

Harvard affiliates: sign in to see all request options and find

PAGE 1 130,852 Results Personalize

1 JOURNAL
Manchuria; semi-monthly publication of the Manchuria daily news :
Dairen
[1936-]
Available at Harvard Law School Library Offsite Storage (MAN 800 M3) and other locations >

2 BOOK
Manchuria, land of opportunities
Minami Manshū Tetsudō Kabushiki Kaisha. / [Rev. ed.] / New York, South Manchuria Railway Co.
1924
Available at Widener Library Old Widener (Ch 264.52.2) >
View online in HathiTrust >

3 BOOK
Manchuria; a survey,
Adachi, Kinnosuke. / New York, R. M. McBride & company
1925
Available at Baker Business Special Collections - Baker Old Class (F 565 A19) and other locations >
View online in HathiTrust >

4 BOOK
Manchuria; a survey of its economic development,
Sakatani, Yoshio, 1863-1941. / [n.p.]
1932
Available at Harvard Yenching Library (W) [DX2906 A3 Sa2 1932x] and other locations >
Limited search in HathiTrust >

5 BOOK
Manchuria; its people, resources and recent history,
Hosie, Alexander, Sir, 1853-1925. / Boston, J. B. Millet. / (Oriental series, vol. 14)
[c1910]
Available at Widener Library Offsite Storage (Ch 264.4.10) >
View online in HathiTrust >

6 BOOK
Manchuria : its people, resources and recent history
Hosie, Alexander, Sir, 1853-1925. / London : Methuen & Co.
1901
Available at Harvard Yenching Library Offsite Storage (DS782 .H82) and other locations >
VIEW ONLINE >

7 BOOK
Manchuria; an annotated bibliography,
Library of Congress. Reference Department. / Washington
1951
Available at Harvard Yenching Library (W) [DS781 .J36 1951x] and other locations >

Date From To -500 2019 Refine

Resource Type Newspaper Articles (51,830) Articles (39,965) Books (22,230) Dissertations (8,800) Reviews (6,306) Reference Entries (2,947) Government Documents (2,902) Book Chapters (2,249) Text Resources (709) Other (550) Images (390) Journals (387) Maps (297) Legal Documents (195) Conference Proceedings (63) Audio Visual (56) Videos / Film (53) Web Sites (40) Archives / Manuscripts (36) Technical Report (15) Patents (8) Scores (7) Research Data Sets (7) Sound Recordings (2) Databases (2) Objects (2)

Location

PAGE 1

ハーバード大学の図書館目録システムHOLLISでは、書籍や雑誌だけでなく、論文、公文書、AV資料、地図、書籍の章なども検索対象とすることができる。

ネット資料(オープンデジタル資料)をいかに効率よくユーザーに提供するか？

■ リンク集の作成と維持

→作成・維持とも実は、たいへん難しい(経験談)

・作成の難点:何を収集の対象とするのか？

・維持の難点:ボランティアベースでは飽き~~が来る~~負担。

例1)東洋史関係リンク集@青山学院大学青木研究室

例2)アジア情報ゲートウェイ@東京大学東洋文化研究所

例3)デジタルリソースリンク集@東洋文庫現代中国研究資料室

例4)Asian Links@国立国会図書館

■ ディレクトリ方式？タグ方式？他に良い方法は？

■ 最終的には、シームレスに検索できると良いが、定型化された書誌情報とそうではない？ネット資料



報告者が手がけた例： 東洋文庫現代中国研究資料 室デジタルリソースリンク集

■ 作ったは良いものの、更新が
後回しになり、いつか放置...

■ 感想：

- ◆ ①維持は大変。
- ◆ ②どこまでカバーするべき？
- ◆ ③担当者や熱意のある人が異動
すると、DBやウェブサイトな
どが放置されてしまう現在の日
本の学術・組織のあり方。

→DBやリンク集などを引き取っ
て維持・保管・最低限の運用をし
てくれる組織・施設の必要性

資料電子化に伴う問題点

- 商用DB／デジタルライブラリの問題点：契約機関のメンバーのみログインできる（それ以外の人間は見ることはできない！）

↑ ↓

- 本は相互貸借できるのに…
- 解決策①：コンソーシアム／NPO方式によるデータベース導入
- 解決策②：大学（公共）図書館に対する遠隔接続の許可

<https://saebou.hatenablog.com/entry/20151221/p1> →



10:36

saebou.hatenablog.com

Commentarius Saevus

2015-12-21

来学期から東京大学非常勤を辞めることになりました

■ ウィキペディア

今年で東大駒場の非常勤講師を辞め、1年間実施した英日翻訳ウィキペディアン養成セミナーは来年から本務校の武蔵大学に移すことになったのですが、この辞職とクラス移動の経緯について皆さん興味があるらしいので、学生に迷惑がかかるなどの差し支えが無い範囲で簡単に説明しようと思います。めちゃめちゃ長いので、イントロのあと3つの節に分かれています。

・イントロ

まず、私は2013年に留学を終えて日本に帰ってきてからずっと東大駒場で英語の非常勤をしており、最初の二年は英語一列、今年の実験的な科目としてウィキペディアン養成セミナーをやっていました。学部から博士の一年まで東大駒場に所属していたので、英語一列には院生の時からTAとして関わっていました。去年からは武蔵大学に専任講師として就職し

資料デジタル化に伴う諸問題

- 逆説的であるが、「紙媒体」の重要性(但しボーンデジタル資料は無理)

→デジタル化やデータベースの一元化は、**統制や改竄も容易。**

→**紙媒体の雑誌や新聞の収集は大事、ただし、全ての大学・公共図書館が行う必要性なし。館を限定して行う、或いは分担する仕組みが必要。**



まとめ

■ 文科省審議会(H22)「大学図書館の整備について」

大学図書館は、これまで、大学の教育研究に関わる**学術情報**の体系的な収集、蓄積、提供を行うことで、教育研究に対する支援機能を担ってきた。

■ 率直に言えば、21世紀以降、中国研究の史料電子化、学術情報の電子化に日本の図書館は追いついていない。

■ 学術情報の体系的な収集・蓄積・提供について：

- ◆ 商用DB、有料デジタルライブラリの提供/利用者の拡大
(ウォークインへの対応、コンソーシアムによるDB導入等)
- ◆ ボーンデジタル資料の収集・蓄積・使いやすい形での提供
(リンク集の構築・維持更新、新型システムの導入等)
- ◆ 蓄積(紙媒体の購入・保管)と提供(DB購入・提供)の分離、特に新聞・雑誌など。提供には国際ILLなどもあると良いな...

■ 根本的な問題：どこまでが図書館の仕事で、どこまでが研究者の仕事？